

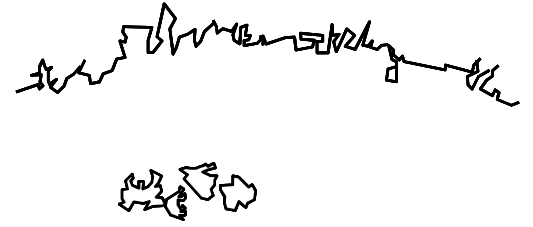
兵庫県のり漁場環境情報 (西播海域 2号)

平成28年10月26日発行
兵庫のり研究所

地先漁場では多種多様な珪藻が多く発生しており、窒素は2~4 $\mu\text{g at / L}$ とやや低い値となっています。沖合漁場では概ね6~8 $\mu\text{g at / L}$ と十分量で推移しています。今後、水温降下にもなう鉛直混合により栄養塩の値は上昇するものと思われませんが、珪藻の発生動向が注視されます。

(栄養塩、珪藻) 地先漁場において、連鎖状や群体を形成して肉眼視サイズとなるものや、小型のキートセロスやスケルトネマ等多種の珪藻が多く発生しており、窒素は低い値を示した。沖合漁場では、地先に面している漁場においてこれら珪藻が確認されるが栄養塩は十分量で推移している。沖に面する漁場では珪藻はほとんど確認されない。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	7.6	3.3	3.6	6.0
	リン	0.51	0.54	0.55	0.60
家島・坊勢	窒素	5.4	7.5	4.1	6.1
	リン	0.62	0.86	0.59	0.68
		(10/12)			(10/26)

栄養塩 (窒素) 図

平成28年10月25日調査

